

事務 事業名	コード1	30600	街路維持管理費	事業 種別	☐ 国土強靱化地域計画	課	都市整備課								
	コード2				☐ 新市建設計画	所属班	街路公園班								
施策 体系	施策	21	良好な生活環境の形成		☐ 総合戦略	電話番号	62-5354	内線	457	款	項	目			
					☐ 復興計画	予算科目	会計						8	3	2
					☐ 定住自立圏構想	一般会計									
					☐ 行政改革アクションプラン	総武本線旭駅前広場管理運営に関する協定書									
施策の展開	39	住み良い住環境の確保	☐ 主要事業		根拠 法令										
			☐ 簡易評価												
1 現状把握(Do)															

1 現状把握(Do)

(1)事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 ※何をどのようにする事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☒ 単年度繰返 ☐ 平成 年度～ ☒ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで ※全体像を記述→	JR旭駅・千潟駅・飯岡駅・倉橋駅に関して、各駅の駅前広場および駐輪場を利用者が快適に利用することができるように、主に以下のことを実施する。 ・除草作業 ・ゴミ拾い ・樹木の管理(施肥・薬剤散布・剪定) ・駐輪場に長期間放置されている自転車の撤去 ・防犯カメラの運用 ・パトロール ・駐輪指導 ・施設の新設(新たに照明灯や看板を設置するなどより利便性を高めるための施設の新設) ・施設の補修(経年劣化で壊れた施設やいたずらにより壊された施設など、修理が必要な施設の補修) 【業務の流れ】 年間を通して・・・除草作業・ゴミ拾い・防犯カメラの運用・パトロール 樹木の管理、駐輪指導については、委託契約にて対応・・・委託契約⇒作業実施⇒完了検査 放置自転車の撤去については、4ヶ月に1度程度の頻度で実施。 必要に応じて、施設の新設及び補修・・・業者に発注(契約⇒作業実施⇒完了検査)or職員で対応可能なものは職員で修理

(2)トータルコスト

① 費目の内訳(26年度の実績)		単位:千円	単位	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)					
1. 役務費	283	旭駅駐輪場防犯カメラ通信料など	事業費	千円	242	302	283	318				
2. 委託料	597	樹木維持管理(飯岡駅)・放置自転車街頭指導(旭駅)など		千円	597	546	597	723				
3. 使用料及び賃借料	720	飯岡駅駐輪場用地(JRから借地)		千円	720	720	720	359				
4. 工事請負費	1,814	施設撤去工事(旭駅)、照明設置工事(千潟駅)		千円	1,233	6,101	1,814	551				
5. その他	1,843	修繕料、消耗品、燃料費、光熱水費		千円	920	777	1,843	1,399				
② 特定財源の内訳(26年度の実績)			単位:千円	事業費計 (A)				千円	3,711	8,446	5,258	3,350
1. 国庫支出金	0		財源	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
2. 都道府県支出金	0			千円	0	0	0	0	0	0	0	0
3. 地方債	0			千円	0	0	0	0	0	0	0	0
4. その他	4	行政財産使用料(飯岡駅)		千円	4	4	4	4	4	4	4	4
前年度比増減理由: 工事請負費の削減				千円	3,707	8,442	5,254	3,346				
③ 延べ業務時間の内訳(26年度の実績)			単位:時間	人件費				人	0.25	0.35	0.30	0.25
パトロール(補修などの対処時間含む)・・・250時間				時間	500	700	600	500				
工事関係(起案・監督・完了検査)・・・200時間				千円	1,900	2,660	2,280	1,900				
維持管理関係(起案・監督・完了検査)・・・30時間												
その他・・・120時間												
トータルコスト(A)+(B)				千円	5,611	11,106	7,538	5,250				

(3)事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

① 主な活動	⑤ 活動指標名	単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)
26年度実績(26年度に行った主な活動) 除草作業、ゴミ拾い、樹木の管理、駐輪場に長期間放置されている自転車の撤去、防犯カメラの運用、パトロール、駐輪指導、施設の新設、施設の補修 飯岡駅駐輪場用地借地契約の見直し、交通安全施設工事	ア パトロール回数	回	53	51	55	52
27年度計画(27年度に計画している主な活動) 除草作業、ゴミ拾い、樹木の管理、駐輪場に長期間放置されている自転車の撤去、防犯カメラの運用、パトロール、駐輪指導、施設の新設、施設の補修	イ ゴミ拾い回数	回	58	60	61	60
	ウ 除草回数	回	4	4	4	4
② 対象(誰、何を対象にしているのか)	⑥ 対象指標名	単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)
駅前広場及び駐輪場 駅前広場及び駐輪場利用者	ア 駅前広場・駐輪場を有する旭市内にある駅の数	箇所	4	4	4	4
	イ 駅の日当たり乗者数 (データの無い倉橋駅を除く3駅の合計)	人	3,508	3,615	3,607	3,600
③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標名(考え方)	単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)
利用者が快適に利用できるようにする。	ア 駅前広場及び駐輪場に対する苦情件数	件	2	4	2	2
	イ ()					
④ さらに、どんな上位目的に結び付けるのか	⑧ 上位成果指標名(考え方)	単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)
市民が安心して通行できる、快適に通行できる	ア 市内の交通事故件数(人身事故・年間)	件	317	245	200	200

(4)事務事業の環境変化、住民意見等

① 開始したきっかけは何か？どんな経緯で始まったか？	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか？開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったか？	③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
駅前広場・駐輪場の整備に合わせて開始されたと思われる。	消費税率が引き上げられた。(5%⇒8%) 労務単価(人件費)が年々アップしている。 以上から同じ作業を実施する場合でも、5年前よりもお金がかかる。	JR飯岡駅周辺の地元区より、駐輪場の舗装要望が寄せられている。(平成25年度に千潟駅駐輪場の整備を実施し、現在駐輪場が舗装されていないのは飯岡駅のみである)

事務事業名	街路維持管理費	課名	都市整備課	班名	街路公園班
-------	---------	----	-------	----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価

目的 妥当性 評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の目的は市の施策体系に結びつくか？意図することが上位目的に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】 旭市の玄関口であり、また多くの利用者がいる駅前広場および駐輪場をきれいな状態に保ち利用者が快適に利用できるようにすることは、市民が安全かつ快適に通行できることに結びつく。
	② 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】 市内に存在する4駅全てを網羅しており、妥当。
	③ 行政関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して実施すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】 市が管理すべき施設であるため。
有効性 評価	④ 成果の現状水準 あるべき水準や目標に達しているか？近隣市や類似団体と比較してどうか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】 駅前広場がきれいな状態に保たれており、苦情の数も少ないため、妥当である。
	⑤ 成果の向上余地 次年度以降の成果向上が期待できるか？事務事業を取り巻く環境変化等を考慮するかどうか？成果の向上余地はどの程度あるか？	☒ 活動量を増やせば成果は向上する ⇒【理由】 ☐ 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は向上する ⇒【理由】 ☐ 活動量を増やしたり、活動を工夫したりしても、今以上成果は向上しない ⇒【理由】 現状で苦情の数は少ないが、4駅中駐輪場が舗装されていない駅が飯岡駅のみであることから、対応をすることで成果は向上する。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業の他(民間・国県を含む)に方法があるか？ ↓ 他に手段がある場合 (1)具体的にはどのような事務事業か？ (2)類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある ↳ (1) 事務事業名：() (2) ☐ 統廃合ができる ⇒【理由】 ☐ 連携ができる ⇒【理由】 ☐ 既に統廃合・連携している ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業なし。 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(表面トータルコストの事業費部分) 事業費を削減できないか？(経費の精査、過剰仕様の適正化、回数削減、住民の協力、アウトソーシングなど)	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 放置自転車等街路指導について一定の効果が出ていることから、委託日数の見直しにより事業費削減余地がある。
	⑧ 人件費の削減余地(表面トータルコストの人件費部分) やり方の工夫(業務プロセスの改善など)や臨時職員の活用・委託により、正規職員の延べ業務時間を削減できないか？	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 現状でも業務時間は多くはないので、これ以上の削減は見込めない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 駅は不特定多数の人が利用する場所なので、公平性は確保されているものとする。

3 評価(Check2)担当課長による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③ 効率性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	現状で苦情の件数も少なく、過去の事務事業評価で事業費の削減に取り組んでおり一定の成果が出ているが、放置自転車等街路指導についても一定の効果が出ていることから、委託日数の見直しにより事業費削減余地があると考える。また、4駅で唯一舗装されていない飯岡駅駐輪場に対する地元区からの要望への対応を検討する。	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(Plan)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可) ※2～3年後を目処にした方向性		(3) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	○			低下			
					コスト																		
			削減	維持	増加																		
成果	向上																						
	維持	○																					
	低下																						
☐ 目的再設定 ☐ 行政関与の見直し ☐ 事業のやり方改善による成果向上 ☐ 事業統廃合・連携(関連事業：) ☒ 事業のやり方改善による事業費削減 ☐ 事業のやり方改善による延べ業務時間削減 ☐ 受益機会の適正化 ☐ 費用負担の適正化 ☐ 廃止・休止																							
(2) 改革改善案について ※いつまでに、なにを、どうするのか？																							
いつまでに	なにを、どうするのか？																						
平成27年度	放置自転車等街路指導の委託日数等を見直し、事業費削減を図る。																						
(4) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							
特になし																							